

株式会社レダックス

2025年 3 月期

決算説明資料

2025年 5 月14日

東証スタンダード:7602



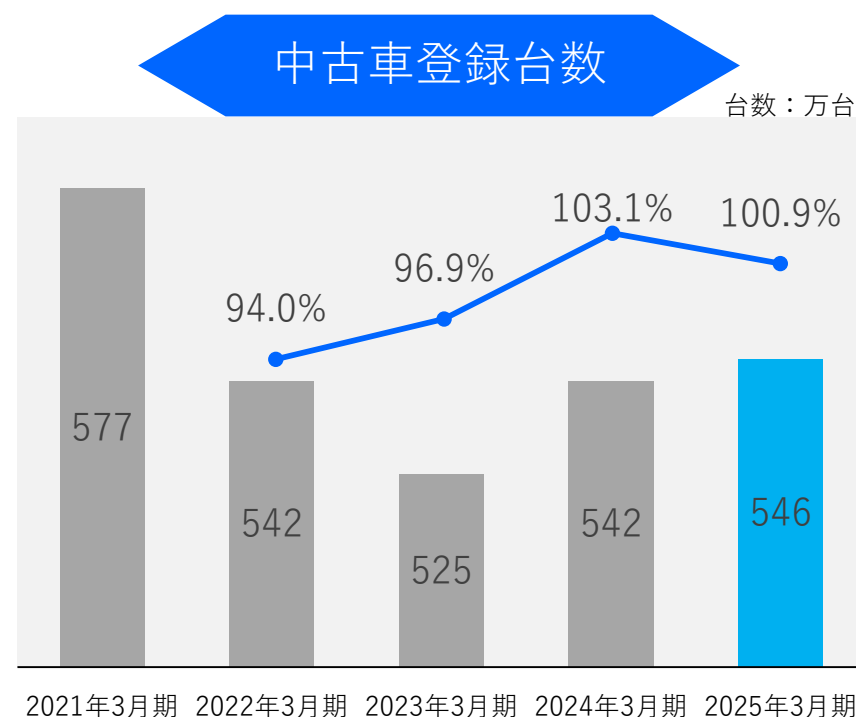
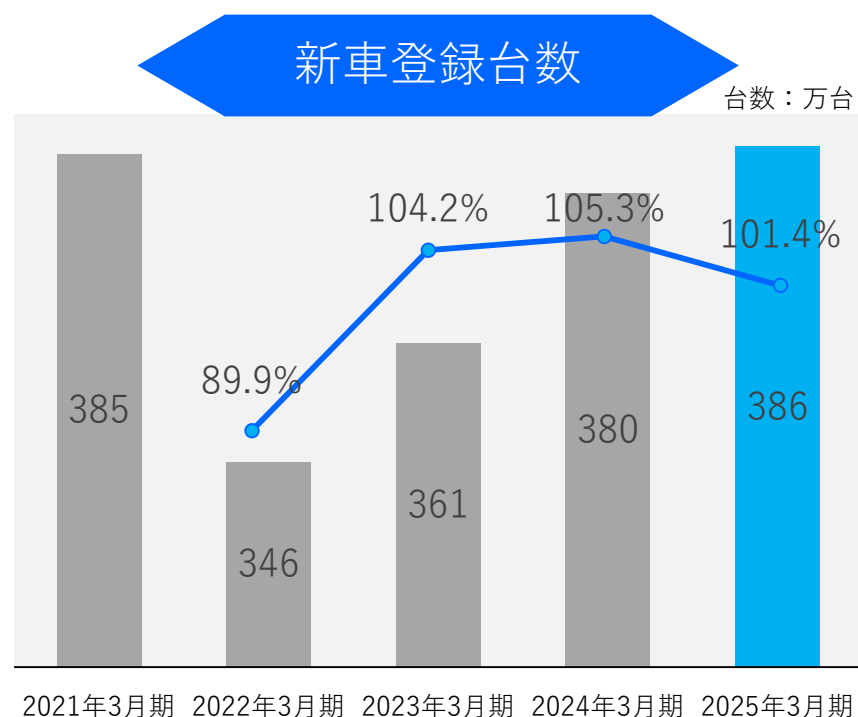
1. 2025年3月期 連結決算の状況

- ① 国内中古車市場の状況
- ② 連結損益計算書
- ③ 連結損益計算書推移
- ④ セグメント別情報（自動車流通事業）
- ⑤ セグメント別情報（リースバック関連事業）
- ⑥ 連結貸借対照表
- ⑦ キャッシュ・フロー計算書

2. 2026年3月期 通期業績予想

1. 2025年3月期 連結決算の状況

◆ 2024年4月～2025年3月の期間における新車登録台数（軽自動車含む）は約386万台（前期比1.4%増）となりました。また、中古車登録台数（軽自動車含む）は約546万台（前期比0.9%増）となりました。



出展：一般社団法人日本自動車販売協会連合会
一般社団法人全国軽自動車協会連合会

2025年3月期連結決算の状況

② 連結損益計算書

- ◆ 当2025年3月期は前年同期と比較し、増収減益となりました。主な要因は自動車流通部門における国内事業関連の不振によるものです。

■2025年 3 月期連結損益計算書

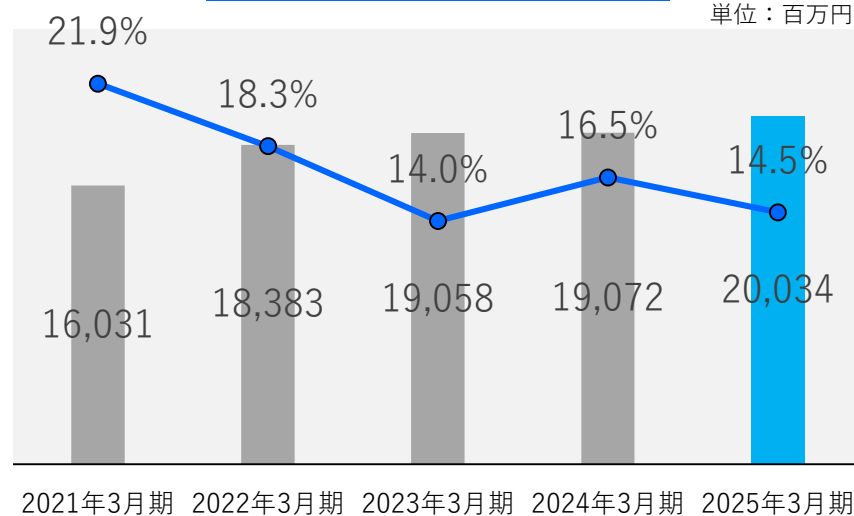
単位：百万円

	2024年 3 月期	2025年 3 月期	前年差異	2025年 3 月期 通期予算	進捗率
			増減		
売上高	19,072	20,034	+962	20,000	+ 0.2%
売上総利益	3,147	2,902	△245	—	—
販管費	3,048	3,102	+ 54	—	—
営業利益	98	△199	△297	275	—
経常利益	149	△143	△292	275	—
当期純利益	113	△158	△271	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	73	△187	△260	175	—
粗利率	16.5%	14.5%	△2.0%		

- ◆ 売上高は順調に推移しているものの、営業利益は赤字を計上する結果となりました。これは特に自動車流通部門の国内事業における販売粗利の低迷が大きな要因であり、お客様のニーズに寄り添ったサービスの提供による利益確保とともに、販売手法の多様化による金融利益の確保を図ることで収益改善を目指します。また、新規事業として金融・投資・M & A・不動産事業を積極的に推進することで、確実な収益向上を目指してまいります。

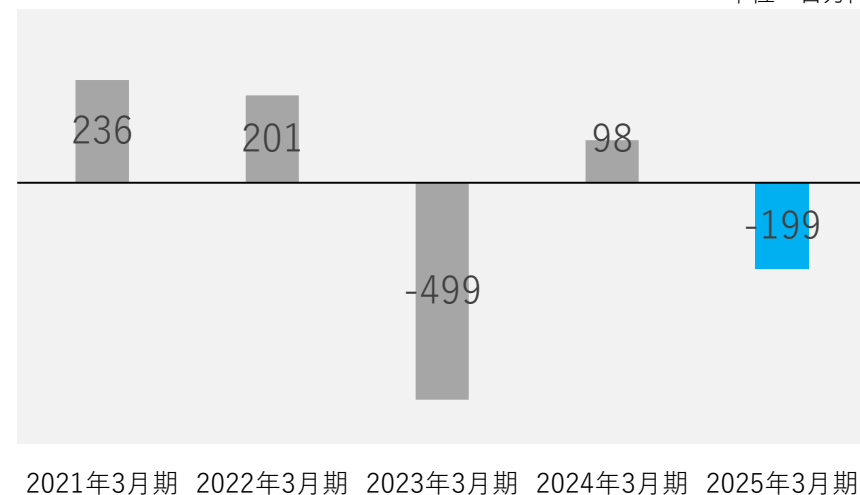
売上高・粗利率推移

単位：百万円



営業利益推移

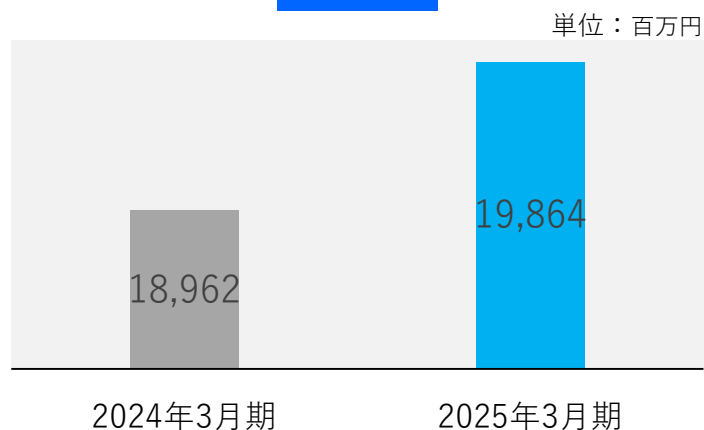
単位：百万円



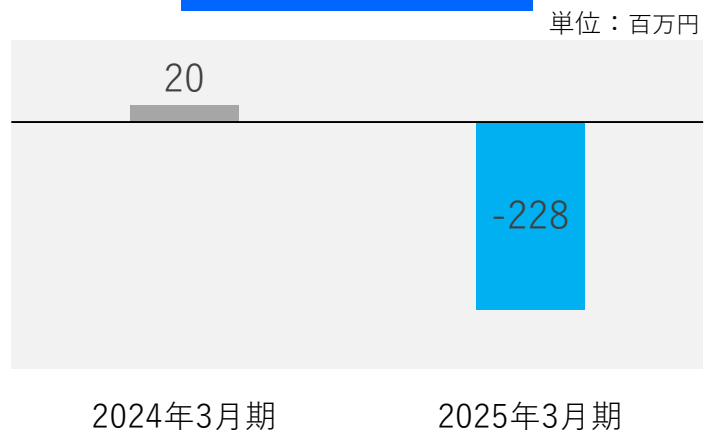
2025年3月期連結決算の状況

④ セグメント別情報（自動車流通事業）

売上高



セグメント利益



売上高：前年比104.8%

セグメント利益：－248百万円

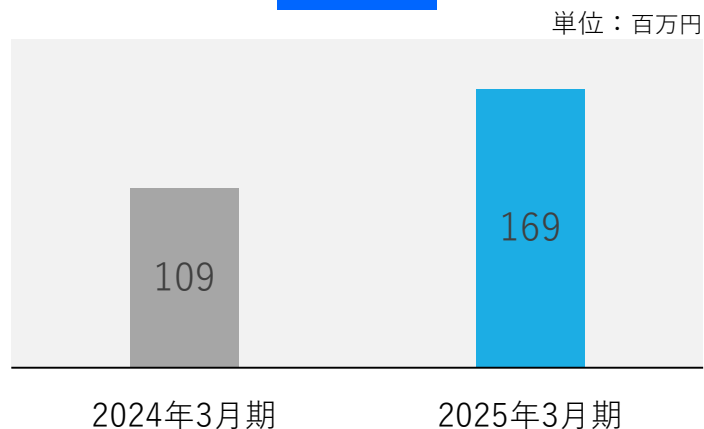
◆ 国内事業

- 仕入価格の上昇及び長期在庫車両の処分に伴う車両販売粗利の低下していますが、付帯商品の販売による利益の確保とともに販売手法の多様化による金融利益の確保により収益改善を図ってまいります。

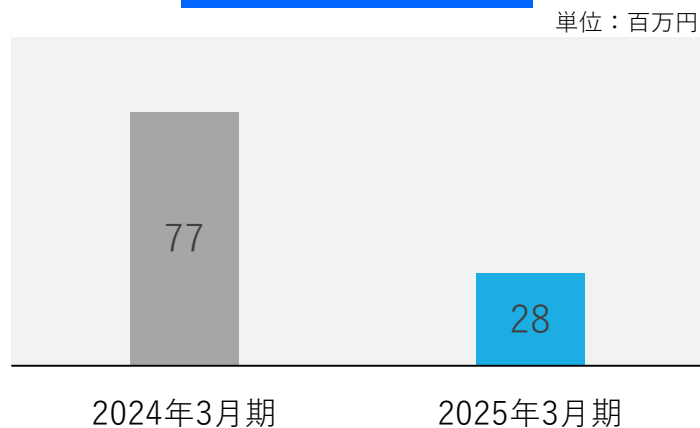
◆ 海外事業

- ウガンダオフィス、パキスタンコールセンターの開設によるアジア、アフリカ地域へ販路を拡大しています。

売上高



セグメント利益



売上高：前年比155.0%

セグメント利益：－49百万円

◆ リースバック関連事業

- 金融機関、大手物流業者との提携及びカーチス倶楽部会員を通じた運送業等への認知向上を進めており、安定的に利益確保しています。
- 2024年5月に貨物利用運送事業登録を取得。運送会社へのファクタリングや利用運送等を推進しています。
- トラック車両の買取・販売事業強化しています。

2025年3月期連結決算の状況

⑥ 連結貸借対照表

- ◆ 当連結会計年度末の資産合計は7,072百万円となり、主な要因は商品の増加に伴う現金及び預金の減少667百万円、商品の増加459百万円などによるものであります。
- ◆ 当連結会計年度末の負債合計は2,214百万円となり、主な要因は契約負債の減少538百万円、買掛金の増加282百万円及び短期借入金の増加149百万円などによるものであります。
- ◆ 当連結会計年度末の純資産合計は4,858百万円となり、主な要因は親会社株主に帰属する当期純損失の計上による利益剰余金の減少187百万円などによるものであります。

■ 2025年 3 月期連結貸借対照表

単位：百万円

		2024年 3 月期末	2025年 3 月期	前年差異 増減
	流動資産	5,765	5,431	△334
	固定資産	1,492	1,640	+148
	資産合計	7,257	7,072	△185
	流動負債	1,983	1,863	△120
	固定負債	239	351	+112
	負債合計	2,223	2,214	△9
	純資産合計	5,034	4,858	△176
	負債・純資産合計	7,257	7,072	△185
	自己資本比率	66.3%	65.2%	△1.1%

2025年3月期連結決算の状況

⑦ キャッシュフロー計算書

- ◆ 当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は667百万円減少し、1,654百万円となりました。
- ◆ 営業キャッシュフローは861百万円の支出となり、主な要因は契約負債の減少額538百万円、棚卸資産の増加額452百万円などによるものであります。
- ◆ 投資キャッシュフローは16百万円の収入となり、主な要因は有形固定資産の売却による収入55百万円、敷金及び保証金の差入による支出22百万円及び無形固定資産の取得による支出18百万円などによるものであります。
- ◆ 財務キャッシュフローは91百万円の収入となり、主な要因は短期借入金の純増額149百万円及びリース債務の返済による支出38百万円などによるものであります。

■ 2025年3月期連結期末キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	前年差異
			増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	875	△861	－1,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	16	＋83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△228	91	＋319
現金及び現金同等物の期末残高	2,321	1,654	－667

1.国内事業

- ◆ 既納客へのアプローチを増やすことにより、納車後も継続的な関係性を構築し、既納客との取引を増やしております。
- ◆ 付帯商品の開発による粗利の改善を図っております。
- ◆ カーチス倶楽部会員へのサービスを拡大し、連携を強化しています。
- ◆ 新規事業としての金融・投資・M & A・不動産事業を積極的に推進しております。

2.海外事業

- ◆ ウガンダオフィスやパキスタンコールセンターの開設により、新たな輸出先を開拓し販路の拡大を進めております。

3.リースバック関連事業

- ◆ 運送会社へのファクタリング・利用運送を推進しております。
- ◆ M & Aアドバイザリー事業としてアドバイザリー契約当事者間のM&Aを株式譲渡により成立させております。
- ◆ トラック車両の買取・販売を強化しています。

3. 2026年3月期 通期業績予想

2026年3月期 通期業績予想

■売上高

通期**22,000**百万円
(前年同期比9.8%増)



■経常利益

通期**350**百万円
(前年同期比493百万円増)



■営業利益

通期**350**百万円
(前年同期比549百万円増)

単位：百万円



■親会社株主に帰属する当期純利益

通期**245**百万円
(前年同期比432百万円増)

単位：百万円



本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料には、当社グループの計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が掲載されており、これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、リスク及び不確実な要素が含まれています。

当社の業績は、経済情勢、事業環境、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

当社は、本資料の利用または付随して生じたいかなる損害も、一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。